

エクステンション講座

アドバンストエクステンションプログラム

横浜市立大学大学院都市社会文化研究科の教員が企画・提供する講座群です。現代社会の問題を深く、専門的に学びたいと考える市民の方を対象とします。

郊外住宅地の未来を考える

横浜市では 2025 年に 65 歳以上の高齢者が 100 万人に達すると予想されています。こうした超高齢社会においては、郊外住宅地の高齢化による活力の低下、人口減少、空き家の発生など様々な課題が生じています。また、こうした問題は首都圏の郊外部の自治体でも大きな政策課題となっています。この講座では、これらの問題の解決策について、様々な観点から検討を行います。

◆開講スケジュール 火/18:30~20:00

第1回	11月13日	郊外住宅地の歴史と現状	横浜における郊外住宅地開発の歴史を踏まえて、郊外住宅地の地区レベルでの人口減少や高齢化の状況などを把握しつつ、郊外住宅地の現状について考えます。 講師/鈴木 伸治 (横浜市立大学大学院都市社会文化研究科教授)
第2回	11月20日	郊外住宅地再生への試み	横浜市と鉄道事業者などによって展開されてきた“次世代郊外まちづくり”などプロジェクトでの経験を踏まえて、これからの郊外住宅地のあり方について議論を行います。 講師/秋元 康幸 (横浜市立大学非常勤講師)
第3回	11月27日	子育て世代と郊外住宅地再生	『まち保育のスズメ』の著者が子育て世代に“あえて”選択されるまちとなるための処方箋について話します。乳幼児期からの子どもが生活に密着した地域社会の中で育まれるために必要なこと、そこから広がるエリアマネジメントの可能性について考えます。 講師/三輪 律江 (横浜市立大学大学院都市社会文化研究科准教授)
第4回	12月4日	郊外住宅地再生へ向けて	これまでの議論を踏まえて、具体的なケーススタディなども交えながら、参加者と共に郊外住宅地の未来について考えます。 講師/内海 宏 ((株)地域計画研究所代表取締役)

受講対象 / 自治体等の住宅地再生にかかわる実務家・民間企業担当者、大学院進学を考えている方など

受講料 / 全4回 6,200円 (本学卒業生は割引になりますので、お申し出ください。)

定員 / 15名

申込 / 事前にホームページ・電話・FAXにてお申込みください。

会場受付 / 講座開始の30分前から受け付けます。

会場 / 横浜情報文化センター 小会議室 (中区日本大通11)
(アクセス)JR「関内駅」南口 徒歩10分

横浜市営地下鉄「関内駅」1番出口 徒歩10分

みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口 徒歩0分

企画監修 / 鈴木 伸治 (横浜市立大学大学院都市社会文化研究科教授)

主催 / 横浜市立大学地域貢献センター

後援 / 横浜市政策局

